

# UV-328(紫外線吸収剤) スクリーニング分析

紫外線吸収剤は劣化防止等の目的で多くの樹脂製品などに利用されています。  
そのうち一部のベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤は難分解性のため生物蓄積性があり、  
また生物毒性も疑われることから、REACH SVHCでは4種類の紫外線吸収剤 (UV-320, UV327,  
UV-328, UV-350) が収載されています。  
さらにUV-328はストックホルム条約(※)において規制候補物質として評価が進められています。

※ストックホルム条約(POPs条約)とは？

環境中での残留性、生物蓄積性、人や生物への毒性が高く、  
長距離移動性が懸念される残留性有機汚染物質 (POPs: Persistent Organic Pollutants)  
の製造及び使用の廃絶や制限、その意図的でない生成による放出の削減等の規制に関する条約です。



SGSジャパンでは、

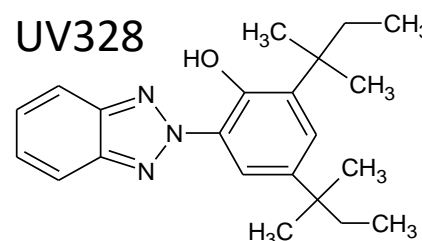
熱抽出ガスクロマトグラフ質量分析法を用いたスクリーニング分析サービスをご提供致します。

## ■本サービスの特徴

- ① UV-328 (2-(2H-Benzotriazol-2-yl)-4,6-bis(1,1-dimethylpropyl) Phenol, CAS No.25973-55-1)  
のスクリーニング分析です。
- ② 少量サンプル (約0.5~1.0g) でも分析を行うことが可能です。

■分析法: 熱抽出ガスクロマトグラフ質量分析法 (Py/TD-GC-MS)

■報告下限値: 100 mg/kg



※上記スクリーニング分析の他に、UV-328含むその他の  
ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤(UV-320, UV-327, UV-350)  
についての定量分析も可能です。

※詳細はお気軽にお問合せ下さい。

## ■お問合せ先■

SGSジャパン株式会社 C&P Connectivity 化学物質管理

〒240-0005

横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークイーストタワー12F

Phone: 050-3773-4510 Email: jpchem.sales@sgs.com

ISO / IEC 17025 : 2017 取得ラボ

※取得範囲はお問合せください。

WHEN YOU NEED TO BE SURE

SGS